2017 年 10 月 24 日

広島大学マスターズ広島 2017 年秋の例会のご案内

「広島大学マスターズ広島」事務局

秋らしいお天気になってまいりましたが、会員の皆様にはご健勝のことと存じます。さて、今年度の秋の例会として、11 月 14 日(火)に下記のようにマツダミュージアム(安芸郡府中町新地 3-1)の見学会を企画しました。どうぞ奮ってご参加下さい。

ご参加いただける方は、別紙出欠票にて、郵送あるいはＦＡＸ、E-mail で、11 月４日（金）までに広島大学マスターズ広島事務局までご連絡下さい。

〇スケジュール　　11 月 14 日(火)

13 時 00 分　JR 向洋駅南口集合

13 時 15 分　「マツダ本社」到着(向洋駅から徒歩５分)

13 時 30 分　「マツダミュージアム」見学(構内専用バスに乗車、所要時間 90 分)

15 時 30 分　「マツダミュージアム」出発、徒歩で JR 向洋駅へ移動、JR で広島駅へ

16 時ごろ～　懇親会（広島駅周辺を予定）

〇マツダミュージアムの紹介

マツダミュージアムは 1994 年 5 月に開館し、2005 年 2 月に展示面積を拡張し全面リニューアルしました。博物館はマツダ構内に設置され、宇品第一工場に隣接しています。博物館の所在地は広島市南区宇品ですが、入場に関しては安芸郡府中町の本社ショールームに集合後に構内専用バスで入場します。

同ミュージアムのホームページなどによると、館内は(1)エントランスホール(最新のクルマの展示やイベントなど)、(2)歴史展示(1920 年代からのマツダの歴史をヒストリックカーの展示とともに紹介しており､今日に至るマツダの歴史を辿ることができる)､(3)RE 展示(マツダの誇るロータリーエンジンの技術について紹介しており、1991 年のル・マン 24 時間耐久レースで優勝したレーシングカー787B も展示している)、(4)技術展示(クルマづくりのプロセスを紹介しており､ここでは主力車種の１つである CX-5 がどのような過程を経てつくられているのかが解説される)、 (5)U1 組立ライン(目の前で次々とクルマが組み立てられていく工程を見ることができる。また展望デッキからは、マツダ専用の港が望める)、(6)未来展示(人・クルマ・環境のより良い関係を目指し、環境と安全への取り組みとともに、次世代のクルマ社会の提案を紹介している)の 6 つのエリアで構成されており、係員の案内で各種展示と実際に稼動している隣接工場の生産ラインを見学することができ、オート三輪をはじめとするなつかしの名車や、最新のコンセプトカーなどを見ることができます。

ミュージアムの入り口にはミュージアムショップがあり、マツダ車に関する商品だけではなく、広島東洋カープとサンフレッチェ広島のグッズも購入することができるそうです。

2017 年秋の例会「マツダミュージアム」見学会出欠票

（11 月４日（金）までにお知らせください）

お名前：

ミュージアム見学　　出席　　欠席　いずれかに〇印をお付けください。

懇親会　　出席　　欠席

同行者数：家族(　)人、友人(　)人、その他(　)人

携帯電話番号：

（参加者への連絡用に使用させていただきます。）

（連絡先）広島大学マスターズ広島事務局（担当：植村）

ＦＡＸ　０８２－５４２－６９６４

E-mail　masters2@hiroshima-u.ac.jp